

自分の能力を考えて、学習を進める生徒の育成

—OPPA シートと難易度別教材を活用し、メタ認知と基本的心理欲求理論を踏まえた英語学習の開発—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（英語）

岩崎 あかね

本実践研究では、中学校英語科において、学習に取り組む際、自分の能力を考えて教材を選択し、学習を進めることができる生徒の育成を目指した。そのために、手立てとして、OPPA シートと基本的心理欲求理論を用いた。OPPA シートでは、生徒が毎時間の目標設定と振り返りを OPPA シート上に行い、OPPA シートを通して生徒が自分の能力を把握することで、教材を選択する場面で自分に合った教材を選択できることを目的とした。基本的心理欲求を用いた活動では、自律性欲求充足、有能性欲求充足、関係性欲求充足を行うことを目的とした。

教科書一単元における全7時間で実践を行ったところ、成果として、生徒は自分の得意・不得意を把握することができたり、また、難易度別教材を選択する場面において、自分の学習履歴を参考に、自分に合った教材を選択できるようになったりした。また、生徒の自律性と有能性欲求が充足され、教材に取り組む姿が変容した。しかし、OPPA シートに長期的に取り組み、自分自身に関しての内省を促す活動を設けたり、1人1人の学習状況を OPPA シートを通して指導者が確認を行い、必要に応じて生徒に声かけや、丁寧な個別指導が必要であるという課題が得られた。